

# ドライクリーニングとは



油性の溶剤で洗うものです。水に濡らさない仕組みです。  
だから油性の汚れは落ちるが、水溶性の汚れは落とせません。  
実は汚れの80%は水溶性、20%が油溶性です。  
ドライクリーニングは汚れ落としに向いていないのです。

一般にドライクリーニングしたあとの溶剤は、フィルターや活性炭を  
何度も通しただけで、ずーっと使い続けるので、どんどん汚れていきます。  
白い衣類が黒ずむことになるのは、このためです。  
水洗いは、汚れの86%を落とします。でもドライクリーニングは16%しか落とせません。

よって“水洗い”の勝ち！！

衝撃！ 現役クリーニング屋さんの証言です。

⇒ドライを最小限にし、石けんクリーニング中心に変えたら、  
作業員の爪や手の荒れがなくなったそうです。

ドライクリーニングの溶剤は実は有害物質です

人体への毒性（発がん性、生殖細胞への変異原性、めまい、頭痛、吐き気、肝臓障害など）の恐れが  
指摘されています。引火性があり、衣類に残った溶剤から化学やけどを起こすことも。  
有害化学物質としてPRTR法（※）によって厳しく指定管理しなければならないが、地  
下汚染がたびたび指摘されているのです。

※PRTR法：人体や生態系に有害なおそれのある化学物質について、環境への排出量を、把握し  
公表する制度。有害化学物質のリスクを低減する仕組み。

## ぜひ、石けんで洗いましょう！

家庭の洗濯機で洗えます。そのポイントは（全自動洗濯機の場合）

- ① 最初に粉石けんを直接衣類の上にふりかけます。（投入口には入れないように）
- ② 洗濯物の量は八分目にしましょう。衣類を入れすぎないこと。
- ③ お湯洗いがおすすめ。お風呂の残り湯を利用するのもいいでしょう。
- ④ 最後のすすぎに、クエン酸小さじ1杯を入れると、石けんカスが防げます。（柔軟剤用の投入口を利用して） 石けんに柔軟剤は必要ありません。

ダウン、ウールも石けんで洗えます。

- ・ダウンの羽は水鳥です。濡れるのは平気です。
- ・袖口などの汚れは、部分洗いで。
- ・ウールは湯洗い厳禁。30℃以上では縮みます。
- ・表示をしっかりと見ましょう。



# 今こそ石けんを使おう！

## 最近の洗剤事情…

### 無リン が安全だ、なんてとんでもない

洗濯や台所用に使われる合成洗剤の主成分は、PRTR 法（裏面参照）に指定された有害化学物質 10 種類が含まれています。

かつては洗剤に含まれているリン酸塩が悪いので、無リン化したものなら良い、という話がありましたが、主成分に問題があることに変わりはありません。

洗濯、台所用など生活に密着した汚れ落としには、肌にやさしく環境を汚さない石けんを使いましょう。

### いいにおいだ、なんてとんでもない

洗剤や柔軟剤に含まれる「香り」。ちょっと強すぎませんか。この香りが原因で、気分が悪くなったり、体調不良を訴える人が増えています。匂いも化学物質です。自分には快適でも、他人には苦しむ人もいること、匂いに慣れて使用量を増やす人もいることなど、問題になっています。



## 最近の手賀沼は…

### きれいになった、なんてとんでもない

長期にわたって汚染 No 1 だった手賀沼は、今、果たしてきれいになっているのでしょうか？  
実は印旛沼に続いてワースト 2 位なのです。汚染が解消されたわけではありません。



←写真は、大津川に流入する生活雑排水。高柳高校から 1km ほど下流のところ。香料の混じった合成洗剤の強い臭いがわかるくらいです。（2014 年 2 月 23 日撮影）

柏市の石けん利用推進の運動は、手賀沼の汚染の問題が大きな原動力でした。現在、柏市石けん利用推進協議会は休止中です。しかし水の浄化は、これからも続けていかなければいけない課題であることに変わりはありません。

## 大切にしたい“地球の水”

「水の惑星」と呼ばれる地球ですが、実はその 97.5% が海水。淡水（ま水）はわずか 2.5% です。そのうち北極、南極などの氷、深い地下水脈など利用できない部分を除いて、人が利用できるのは、地球全体の水の 0.01% だということです。（ジャーナリスト・アクアスフィア代表橋本淳司氏 HP から）

だとすると、私たちは、この貴重な水を大事にしていくことがとても大切だと気づかされます。石けんは人体にも環境にもやさしいものです。ぜひ石けんを使いましょう。

## 食の安全と環境を考える会

問い合わせ：福田 7133-3003

Mail: syokutokankyou@yahoo.co.jp

HP: <http://syokutokankyou.web.fc2.com/>